

# 支援メニューの開発

---

平成29年10月12日

一般社団法人パーソナルサポートセンター  
業務執行常務理事 立岡 学

# 仙台市の概要

仙台市 行政区 地図



西には奥羽山脈、東に太平洋を望む宮城県第一の広さの都市で、市域の約6割が緑地となっています。

## ○人口は宮城県(約233万人)の46%

・人口	約107万人
・世帯数	49.5万世帯
・世帯当たり人数	2.2人／1世帯
・転入人口	130人／1日
・転出人口	126人／1日

## ○第3次産業が中心「支店経済・仙台」

・事業所数	45,845事業所
・市民1人当たり所得	358万円
・経済成長率	実質10.4%

## ○東日本大震災の被災状況

### ≪被害状況≫

・人的被害状況	997人死亡 (災害関連死261人含む)
・建物被害状況	
全壊	30,034件
大規模半壊	27,016件
半壊	82,593件
一部半壊	116,046件

(仙台市ホームページより)

宮城県  
232万5096人  
(平成27年6月1日現在)  
のうちのPSCは約145万人のエリアを担っている

富谷市自立相談支援センター

仙台市生活自立・仕事相談センター  
わんすてっぷ

宮城県南部自立相談支援センター【宮城黒川事務所】

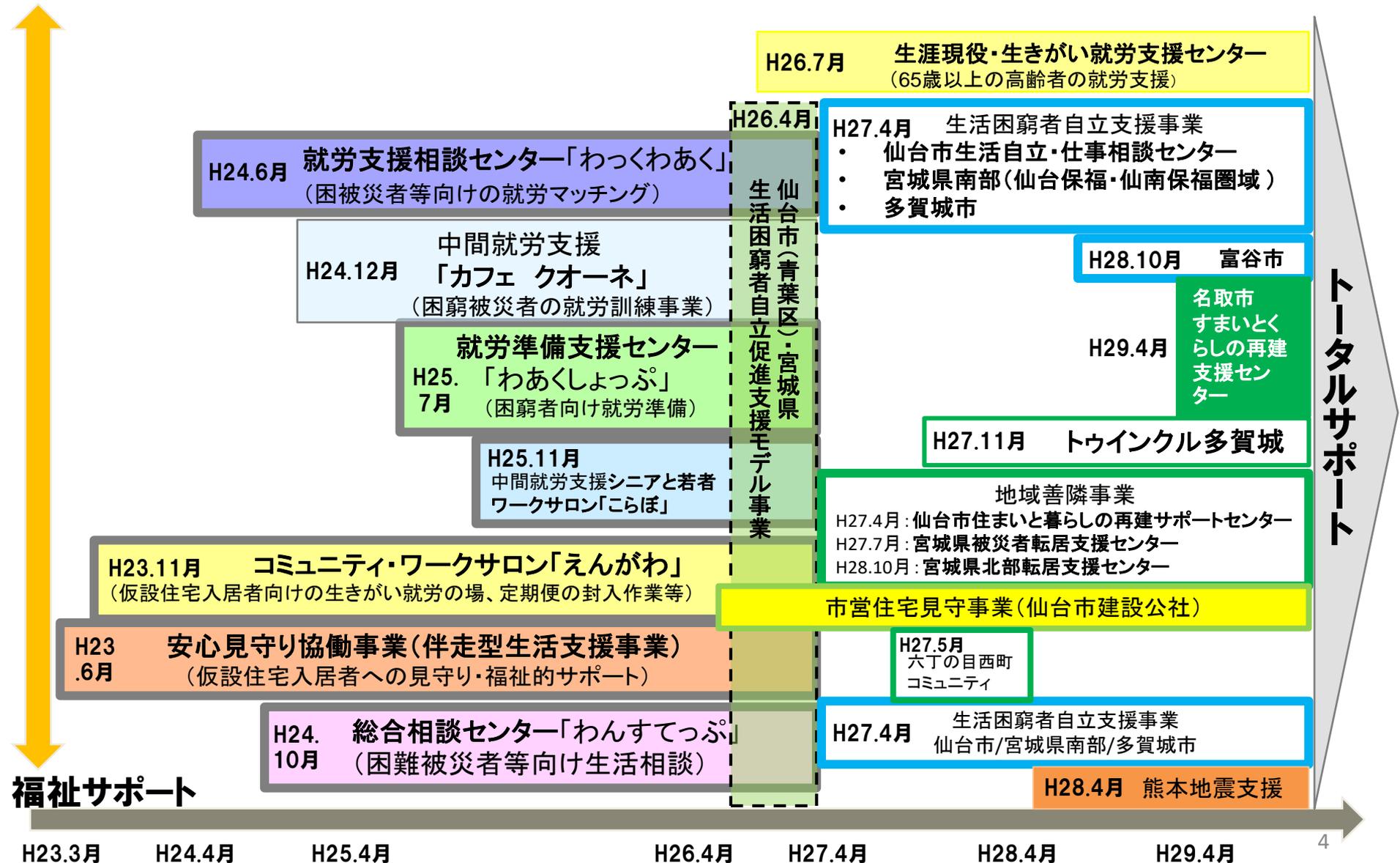
多賀城市自立相談支援窓口

宮城県南部自立相談支援センター【仙南事務所】

パーソナルサポートセンター  
生活困窮者自立相談支援実施箇所  
(宮城県内)

# PSCの支援事業の全体像【平成29年8月現在】

就労サポート



トータルサポート

福祉サポート

H23.3月 H24.4月 H25.4月 H26.4月 H27.4月 H28.4月 H29.4月

## 「福祉的支援」と「労働的支援」の有機的連携

### ⇒生活困窮者の自立生活・生産性の向上・よりよい生活

#### ◆ 生活を立て直す福祉的支援

##### 生活支援

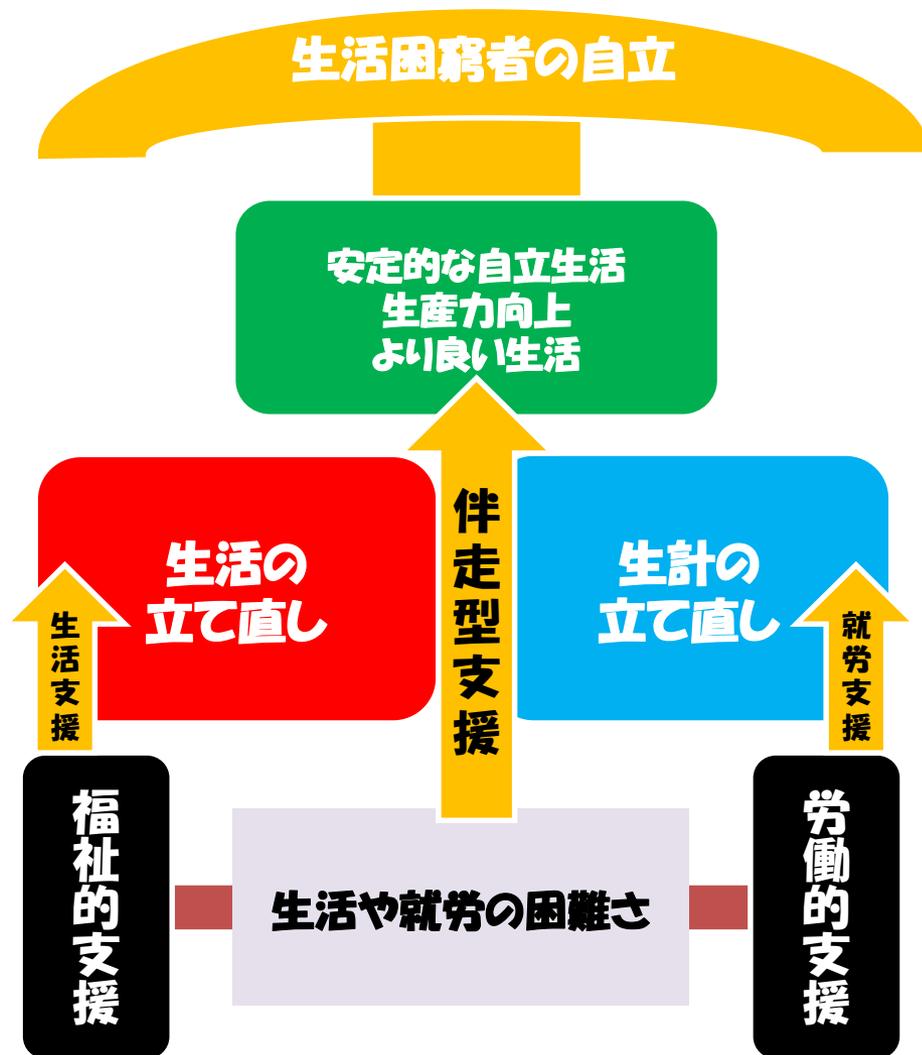
- 支援対象者が安定的に自立生活を営むことの実現につなげる
- 生活困窮者の自立の促進を図る

#### ◆ 生計を立て直す労働的支援

##### 就労支援

- 貧困の固定化の打破
- 生産力の向上
- よりよい生活

生活困窮者の生産性と生活の向上



# PSCの就労支援に対する基本的な考え方

## 「ワークファースト」をベースとした伴走型・オーダーメイド型の支援

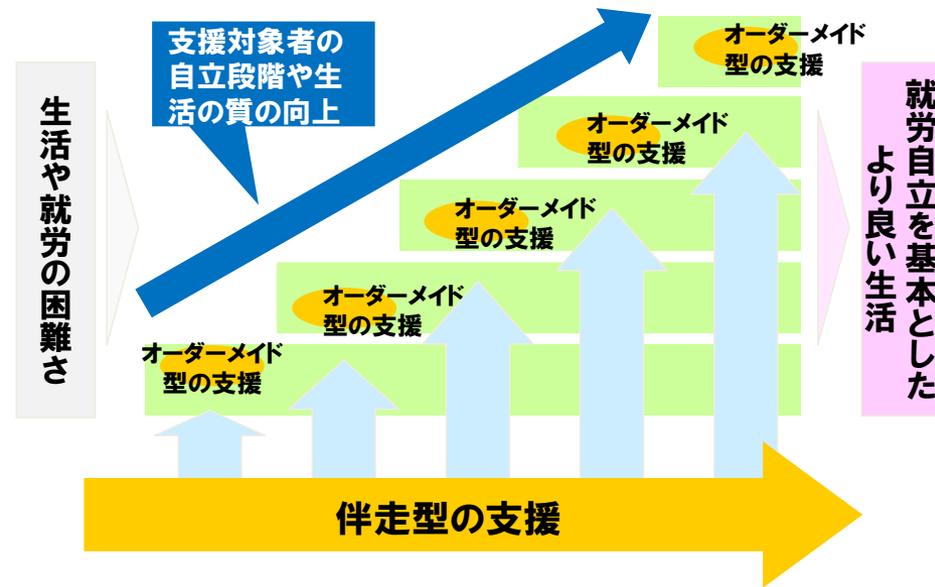
### 可能な限り就労による自立を目指す 「ワークファースト」

- 就労による自立を第一に考え、一人ひとりが抱える課題や自立段階、就労阻害要因によって、支援の方向性や適切な自立の在り方を検討する。

### その人の状態に応じた 伴走型・オーダーメイド型支援

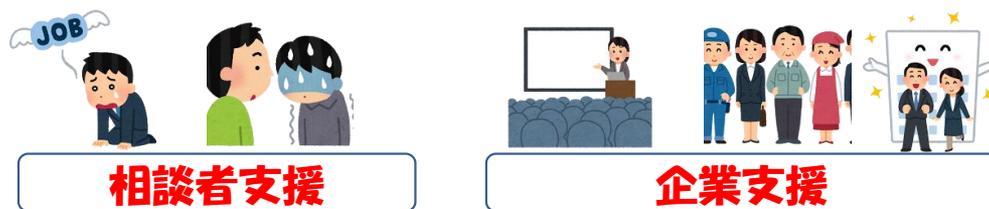
- 生活困窮者の抱える課題は多様かつ複合的であり、画一的な支援では社会的排除と分断型システムを克服が困難であるため、一人ひとりに対しオーダーメイド型の支援を提供し、その人の状態に応じた段階的・継続的な支援が必要。

自立段階に応じた伴走型かつオーダーメイド型の支援を実施し、就労自立を基本としたより良い生活を目指す



# 仙台市生活自立・仕事相談センターの生活困窮者支援の各事業における就労支援のイメージ

- 就労支援ではケース管理の裏にある営業力を駆使しての事業所の開拓・拡大を通し、地域の企業とのパイプづくりに力点を置いた取り組みがポイント。
- 相談者にフォーカスした相談支援と、企業にフォーカスをあてる企業支援の2つの視点を持つことが重要。



## 生活困窮者に対する就労支援支援



# 生活困窮者に対する就労支援と協力事業所に対する企業支援

## 長く働き続けるための支援

就労意欲の喚起・スキル習得・キャリアコンサル、  
雇用の場の確保、就職活動スキル

職業体験実習

作業プログラム  
(就労体験)

訓練開始前の  
調整

訓練期間中の  
フォローアップ

無料職業紹介  
マッチング支援

職業相談  
就活支援

スキルアップ  
プログラム

協力事業所  
開拓

## 相談者支援

フラック企業は  
もうゴメン・・・

就職活動を  
したことがない

働く自信が無い

経験も資格も  
無いし・・・

いつまでも  
仕事に  
就けない

仕事が  
続かない

## 長く働いてもらうための支援

人材の確保、就労前の人材育成、仕事との親和性見極め、  
人と仕事のマッチング、就労開始後の留意事項

無料職業紹介  
マッチング支援

作業プログラム  
(就労体験)

訓練期間中の  
フォローアップ

訓練開始前の  
調整

職業体験実習

企業連携  
営業活動

地域連携  
社会参加支援

就労支援担当者  
に対する支援

## 企業支援

働けなくなる人は  
いないのか・・・

求人は出して  
るのに・・・

履歴書だけで見  
極めるの・・・

慢性的  
人手  
不足

従業員が  
定着しない

労務管理  
が大変

## 生活困窮者に対する就労支援

### 自立相談支援事業

相談支援

インタビュー  
アセスメント

プラン作成

支援調整会議

プランの実施

就労支援

職業相談  
就活支援

無料職業紹介  
マッチング支援

職業体験実習

### 就労準備支援事業

就労準備支援

作業プログラム  
(就労体験)

スキルアップ  
プログラム

モニタリング  
ケース管理

連携支援

企業連携  
営業活動

ケース連携

地域連携  
社会参加支援

### 就労訓練事業の推進

訓練調整支援

訓練開始前の  
調整

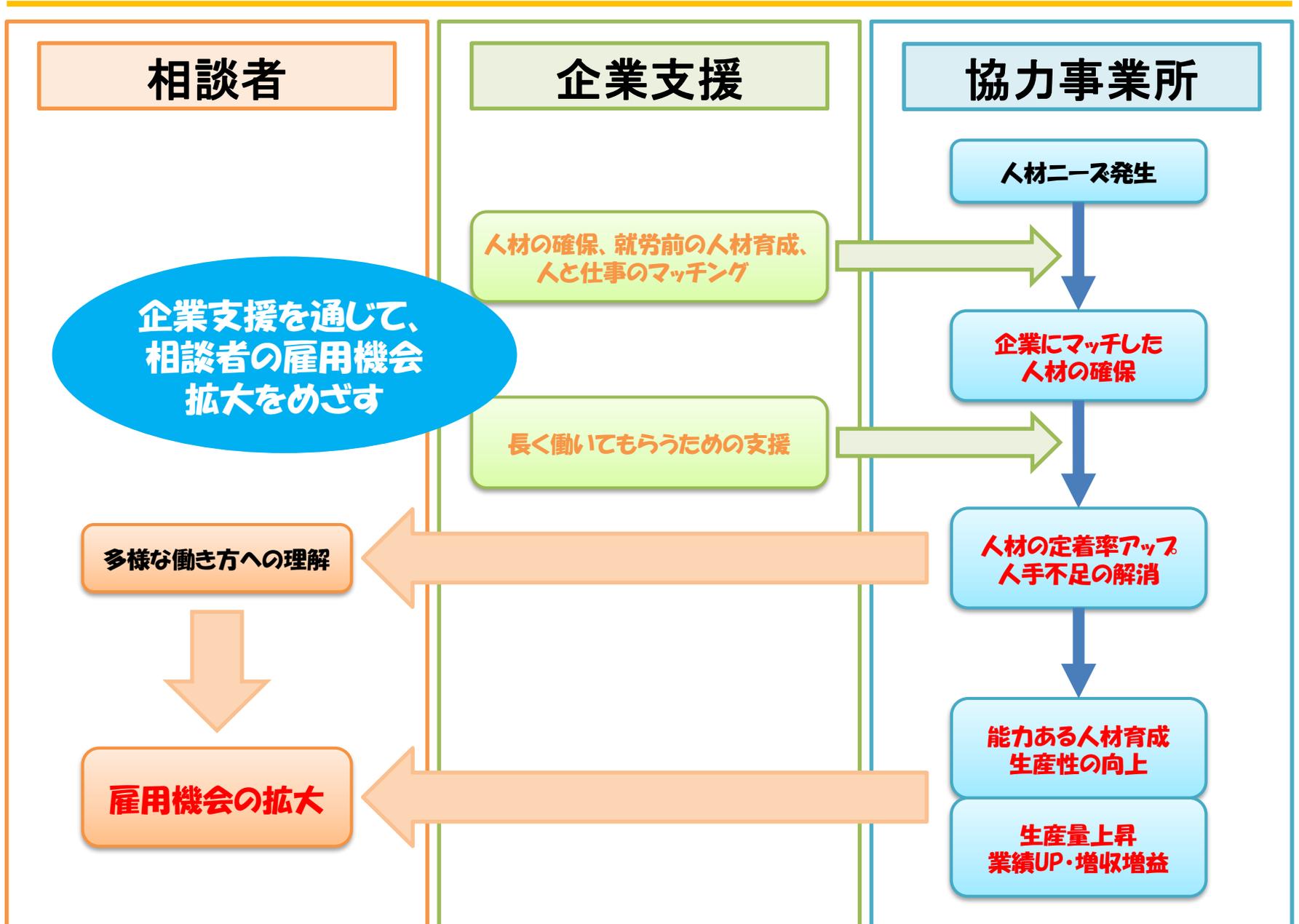
訓練期間中の  
フォローアップ

就労支援担当  
者に対する  
支援

企業開  
拓支援

協力  
事業所  
開拓

# 企業支援による効果



# 自立相談支援事業における就労支援のイメージ

## 自立相談支援事業

### 相談支援

インタビュー  
アセスメント

プラン作成

支援調整会議

プランの実施

### 就労支援

職業相談  
就活支援

無料職業紹介  
マッチング支援

職業体験実習

## 無料職業紹介 マッチング支援

- 個別求人開拓
- 求人情報のアレンジや仕事の切出し
- 企業のニーズの把握
- 求職者の出来る事・出来ない事をしっかり伝える
- TRY&ERROR まずは挑戦してみて上手に失敗する。  
⇒事業所には平身低頭。就労支援員の仕事は頭を下げること。

## 職業体験実習

「職業体験実習」とは、パーソナルサポートセンターが東日本大震災被災者対象の就労支援を開始した平成24年にスタート。

平成27年以降は、就労準備支援を経るなど、主に就労へ意識が高まった利用者のステップとして実施している。

生活困窮者自立支援制度上の位置づけとしては、**自立相談支援事業の就労支援の一つの支援メニュー**として、運営している。

## 職業体験実習好評

参加者「いろいろな学んだ」

PSC

一般社団法人「パーソナルサポートセンター」(青葉区二日町・略称PSC)が被災者らを対象に昨年実施している「職業体験実習」が、参加者に好評だ。さまざまな現場で最大20日間、ブロの仕事を体験できることから、開始数カ月で早くも9人が参加。体験を通じて、仕事への意欲を高めている。

2月上旬、青葉区内の飲食店で、10代の女性が料理の盛り付けに精を出していた。

女性は、1月中旬から平日のほぼ毎日、この店で従業員の指導を受けながら、お弁当の容器に料理を盛り付けたり、接客をしたりする仕事を体験。実習を通じて、仕事

への理解を深めた。女性は「料理を盛り付けるときに、見栄えを良くするなど、工夫していることを学びました。スタッフのみなさんと話をすることで、自分を振り返ることもできました。参加してよかったと思います」と笑顔で語った。



飲食店での職業体験に精を出す実習生＝仙台市青葉区

# 企業開拓について(事前開拓の場合)

就労

① 情報収集

② 訪問

③ 求人登録/  
協力事業所契約

④ マッチング

求人開拓

- 利用者のニーズ
- ハローワークの求人情報
- 求人誌の情報
- 人材不足の課題を抱える業界への聞き取り
- 関連機関からの紹介等

この情報をさらに

協力企業開拓

- 事業内容の情報(業務分解可能な業務、仕事内容か)
- 障害者雇用や過去の就労実績
- 人的ネットワークからの職場風土情報等

- 生活困窮者自立支援制度についての説明
- 「わんすてっぷ」利用者の傾向や特徴への理解を得る
- 就労準備支援センターの利用や具体的な就労支援による変化、意欲やスキル(ex.パソコン資格)の向上事例の紹介

- JOBカードを活用してのキャリア形成促進の紹介
- 成功事例と失敗事例の紹介
- ステップを踏んだ就労支援として、

- 認定訓練事業
  - 職業体験実習
- の紹介

- 就労の条件(仕事内容、仕事量、場所、時間数、時間帯、賃金、人数、休日等)を確認し、お互いに合うと思われるところで見学など設定し同行する
- 見学がない場合、利用者には職場環境等も情報提供して、できるだけ不安を軽減して応募や面接に臨めるよう配慮する

- 認定訓練事業
- 事業所には申請方法や訓練カリキュラム作成をサポートする
- 必要と思われる利用者に訓練先事業所を紹介し検討を促す
- 職業体験実習
- 事業所に実際の利用者を体験実習で見てもらい、訓練や就労の可能性を探る

## ①情報収集について～②訪問のポイント

### 求人開拓

- ◆ 無料職業紹介所を開設しており、求人開拓の営業をしている。
- ◆ 開拓のときに着目するのは、中間就労的な要素がある求人で、詳細の情報を調べてストックしておく。
- ◆ 一つには、すぐにフルタイム、正社員などは目指さない(目指せない)相談者に対し、「こんな条件、こんな働き方から始める方法もある」という選択肢を見せるため。
- ◆ もう一つは、その事業所が、条件の幅を広げることが可能かを情報収集するため。
- ◆ 「条件の緩和⇨相談者の傾向に合いそう(応募する人がいそう)」であれば、求人票を作成して無料職業紹介所に登録するとともに、協力事業所になっていただく。

### 協力企業開拓

- ◆ 職業体験実習先(あるいは就労訓練先)を随時募集している。
- ◆ 求人の営業とセットでPRすることが多い。
- ◆ 「実習生はどんな人か」の傾向をお話しして、納得し受け入れていただけるか、仕事や職場の受け入れはどうかを聞き取る。その際、利用者のジョブカードのサンプルも持参し、対象者への理解を促進するよう努めている。
- ◆ 就労訓練事業への協力はハードルが高い(メリットが不明瞭?)ため、職業体験実習から入って就労訓練を考えていただくこともある。

## 事前に開拓する(実習先を協力事業所から選択)

	事業所訪問のポイント
準備段階	<ul style="list-style-type: none"><li>その事業所の情報収集:<ul style="list-style-type: none"><li>⇒過去にコンタクトはあるか</li><li>⇒関連団体との関係は？</li><li>⇒<b>障害者雇用、高齢者雇用等の実績</b>(事業所が属する業界も)</li><li>⇒<b>キーマン</b>への近道はあるか</li></ul></li></ul>
初回訪問	<ul style="list-style-type: none"><li>提供する情報の準備<ul style="list-style-type: none"><li>⇒制度の説明資料、「わんすてっぷ」パンフレット</li><li>⇒過去の実績(<b>就労準備を利用した変化</b>や職業体験実習の実績)</li><li>⇒<b>事業所や業界の実情のヒアリング</b></li></ul></li></ul>
受け入れ調整時	<ul style="list-style-type: none"><li><b>対象者の承諾を得て</b>の情報提供<ul style="list-style-type: none"><li>⇒困難な事由、対象者の希望、現在の状況</li><li>⇒受け入れ条件と本人の希望や環境とのすり合わせ</li></ul></li><li>お互いに無理をしない範囲での調整<ul style="list-style-type: none"><li>⇒<b>「まずやってみる」</b>ことの大切さの言及</li></ul></li></ul>

	事業所訪問のポイント
準備段階	<ul style="list-style-type: none"><li>• マッチングの精度の予測:<ul style="list-style-type: none"><li>⇒その利用者は実習/訓練に何を求めているか</li><li>⇒事業内容は利用者の希望とフィットしているか</li><li>⇒最終的に「何を」事業所にプッシュするか</li></ul></li></ul>
初回訪問	<ul style="list-style-type: none"><li>• 提供する情報の準備<ul style="list-style-type: none"><li>⇒制度の説明資料、「わんすてっぷ」パンフレット</li><li>⇒利用者の希望と現状(できている/できていない)</li></ul></li><li>• 職場の雰囲気、人を観察する<ul style="list-style-type: none"><li>⇒利用者はここにいられるだろうか？</li></ul></li></ul>
受け入れ調整時	<ul style="list-style-type: none"><li>• 対象者の承諾を得ての情報提供<ul style="list-style-type: none"><li>⇒困難な事由、対象者の希望、現在の状況</li><li>⇒受け入れ条件と本人の希望や環境とのすり合わせ</li></ul></li><li>• お互いに無理をしない範囲での調整<ul style="list-style-type: none"><li>⇒「まずやってみる」ことの大切さの言及</li></ul></li></ul>

## 職業体験実習及び就労訓練事業の実績

「職業体験実習」とは、PSCが東日本大震災被災者対象の就労支援を行っていたときにスタートしたもので、H27年以降は、就労準備支援を経るなど、主に就労へ意識が高まった利用者のステップとして実施している。

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (7月現在)
職業体験実習 協力事業所数	45	52	55	58	41
職業体験実習 実施件数	39	34	21	13	4
実習後に、就労 決定した者	19	15	9	4	3
就労訓練事業所 数			3	4	8
就労訓練実施件 数			0	1	1

# 就労準備支援事業における就労支援のイメージ

## 就労準備支援事業

### 就労準備支援

作業プログラム  
(就労体験)

スキルアップ  
プログラム

モニタリング  
ケース管理

### 連携支援

企業連携  
営業活動

ケース連携

地域連携  
社会参加支援

## 作業プログラム

### 施設内作業

- ▶ 内職・軽作業  
チラシ折込作業  
封入・封緘作業  
Tシャツおろたたみ作業

### 施設外作業

- ▶ ソーシャルファーム  
▶ ポスティング作業



## スキルアップ プログラム

- ▶ PC講座
- ▶ 就活講座  
就活実践コース
- ▶ コミュニケーション講座  
ボイストレーニング
- ▶ 生活・健康講座
- ▶ 余暇講座



## 企業連携 営業活動

- ▶ 作業プログラムは地域の内職業者や製造業者から受注した軽作業を複数の参加者で協働で実施。
- ▶ プログラム参加者人数との兼ね合いもあり、納期や作業受注量については、職員と企業担当者の密な打ち合わせが必要となる。
- ▶ 作業プログラムの内容は、実際に一般市場に流通する商品を扱う作業を実施しており、**就労準備支援事業における就労体験の場**として位置付けている。

## 地域連携 社会参加支援

- ▶ 構成団体が主催するイベントでは、会場設営・撤去作業を行いアルバイト。プログラムではなくあくまで労働の対価としての賃金を受け取ることで『働く』事に対する自信がついてくる。
- ▶ 高齢者の内職サロン活動ではセンター利用者が作業指導者として参加する場面もある。

# 就労準備支援プログラムについて

就労準備支援プログラムは、内職作業や農作業等の共同作業による『作業プログラム』と、就職活動や就労後の就労継続に必要なコミュニケーションやパソコン等のスキルを身につける『スキルアッププログラム』の2つのプログラムで構成している。

2017年 8月 「わんすてっぷ」就労準備支援センター プログラム予定表

H29.7.20 【様式-1】

	7(月)		8(火)				9(水)				10(木)				11(金)					
	施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外					
	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②				
午前	短期就活	内部作業	ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	祝日 山の日			
午後	集中就活講座		ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②				
備考																				
	14(月)		15(火)				16(水)				17(木)				18(金)					
午前	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②				
午後		内部作業			PC講座	内部作業			短期就活	内部作業	ソーシャルファーム	マンション清掃	PC講座	短期就活	ソーシャルファーム	ポストイング(ばど)				
備考																				
	21(月)		22(火)				23(水)				24(木)				25(金)					
午前	短期就活	内部作業	ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②				
午後	余暇講座		ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②				
備考																				
	28(月)		29(火)				30(水)				31(木)				<b>*PC講座(集合AM9:30/PM13:00)</b> <b>AM10:00~11:50/PM13:00~14:50</b> <b>(内10:00~10:30/13:00~13:30自習)</b> <b>*各講座(集合PM13:00)</b> <b>PM13:00~15:00</b> <b>*ソーシャルファーム(集合AM9:30)</b> <b>AM10:00~12:00/PM13:00~15:00</b> <b>*内部作業(集合AM9:30/PM13:00)</b> <b>AM10:00~12:00/PM13:00~15:00</b>					
午前	短期就活	内部作業	ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業					①	②
午後	生活講座		ソーシャルファーム		スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業					①	②
備考	生活講座:消費者トラブルに気を付けよう																			

# わんすてっぷにおける就労準備～就労支援の連携

## 自立相談支援(生活相談・就労相談)

### 就労準備

- その人の課題を見極める
- 「メンバー」であること
- **本人と準備の支援員**及び**自立相談支援員**が、時間経過の中で変化を共に見つけ、次のステップに進む時機を見定める

### 職業体験実習

- **5日～20日の体験**
- **比較的気軽な第一歩**
- **事業所から客観的な指導や意見を頂ける**
- **自信が無い人のハードルを低くする**

### 就労支援

- **本人の意向や条件を確認**
- 事業所の情報を提供しながら働き方の**イメージを共有**する
- 職業体験実習や就労訓練等の利用を調整する

### 就労訓練

- 現場体験～実践まで**本人の意向、状況、事業所の条件**に基づいて実施
- 一定期間(6か月程度)の継続で本人が就労に向けて意欲的でいられるか

## 事業所様からは、こんなことを言われます・・・

- うちギリギリの人数でやっているの、手間がかけられない
- 自分(経営者)は協力したいが、現場の人間が対応しきれないんじゃないか
- 経営のことを考えると、「これ」っていうメリットを感じない
- あいさつぐらいちゃんとできなきゃ、仕事なんてできないよ
- もっと大企業がやるべきなんじゃないの？

みんな本当のことだと思います。しかし・・・

- めまぐるしく変動する時代に事業を継続するためには、ヒトの確保・定着ができるか否かが、企業の存続や地域での存在価値を決める。(といっても過言ではない)

**生活困窮者の社会参加の機会の一翼を担うことは、チャレンジの第一歩となるでしょう！**

# 株式会社JM就労訓練事業

仙台市生活自立・仕事相談センター  
わんすてっぷ

株式会社JM様  
仙台SC/JM社人材育成アカデミー

## アセスメント／相談／プラン

支援決定  
プランの可否  
訓練実施可否

- ・主訴に応じて課題の整理
- ・一般就労か、準備支援が必要か

## 就労準備支援センター

- ・ 生活自立
- ・ 社会自立
- ・ 就労自立  
に向けた準備プログラムを実施
- ・ 期間と目標を定めて、本人の課題への取り組みを進める

## 就労支援

- ・ 体験実習や就労訓練がプランされた者の実習/訓練先のマッチング、調整
- ・ ジョブカードを活用して特性や能力の棚卸
- ・ 実習/訓練へ送り出す際の手続き対応
- ・ 実習/訓練期間中のJM社との調整及び訓練生の対応、フォロー

## A. 職業体験実習(JM社仙台営業所)

- ・ 5日～20日で5時間程度/日
- ・ JM社へ実施運営費、実習生に奨励金、保険も含めPSCが負担

## B. 就労訓練(JM社仙台サービスセンター)

- ・ 仙台市認定訓練事業の枠組みで実施
- ・ 3か月～6か月の訓練期間
- ・ 非雇用型/雇用型で働き方を身に着けて就労への準備を行う

## B'. 就労訓練(JM社人材育成アカデミー)

- ・ 地域交流型認定訓練事業(仮・新提案)で実施
- ・ 2週間/1か月/3か月/6か月の訓練期間
- ・ 訓練は原則雇用型とし、往復旅費・滞在についてはJM社負担

支援調整会議

定期報告  
終了報告  
課題検討  
(リプラン)  
就労報告  
等

就 労

# 就労訓練事業スケジュール

・ 訓練生は、一定の入力スキルがあることが要件だが、就労経験や実務能力は個人差があることから、このイメージ案では就労経験の少ない(あるいは失敗経験のある)若年層の対象者を想定している

1か月

2～3か月

4～5か月

6か月

訓練生のスケジュール

システム入力の基本習得(指導つき)  
～単独で入力、報告・確認ができる

- ・ 仕事の基本の習得(挨拶、報・連・相、職場での基本のコミュニケーション)
- ・ 出勤～退勤までの時間を守る、リズムになれる

仕事の習熟、計画性の意識を持てる

- ・ 自分の役割を認識する
- ・ 任せられた仕事を計画的にこなす
- ・ 周囲と協力して職場の一員としての自覚を持つ

計画的な業務の進め方を習得する

- ・ 計画性をもって業務を進める
- ・ 外部の人に対して社員として対応できるようになる
- ・ 仕事を継続できる自信を持つ

支援調整会議による訓練実施承認

支援機関

- ・ わんすてっぷ同行(1～2日目)
- ・ 電話での確認、相談(～1週間、様子により)
- ・ 現場指導員との情報交換
- ・ Passo(※名古屋の障害者就労移行支援事業所)との連携確認(精神的な面や生活面のサポート等情報共有)
- ・ 1か月ごとの定期訪問(面談、生活状況等確認)

中間レビュー

支援調整会議による訓練成果の概括

訓練終了・総括

## 相談者の自己理解と受入れ企業に対するメリットを高めるJOBカードの活用

就労準備や訓練対象者に対する支援策としてJOBカードの作成支援を追加。

➤ JOBカード作成のメリット:

- ① 相談者・・・過去の職歴・研修受講歴を振り返り自己理解を深めると共に、就労準備及び訓練で何を達成するか、補うかなどを明確にする
- ② 支援員・・・利用者の職歴・研修受講歴などを把握し、一緒に振り返ることで、利用者の特性や適性の共有ができ、目指す就労への方向性が見やすくなる

➤ 就労訓練事業所等でのJOBカード活用支援

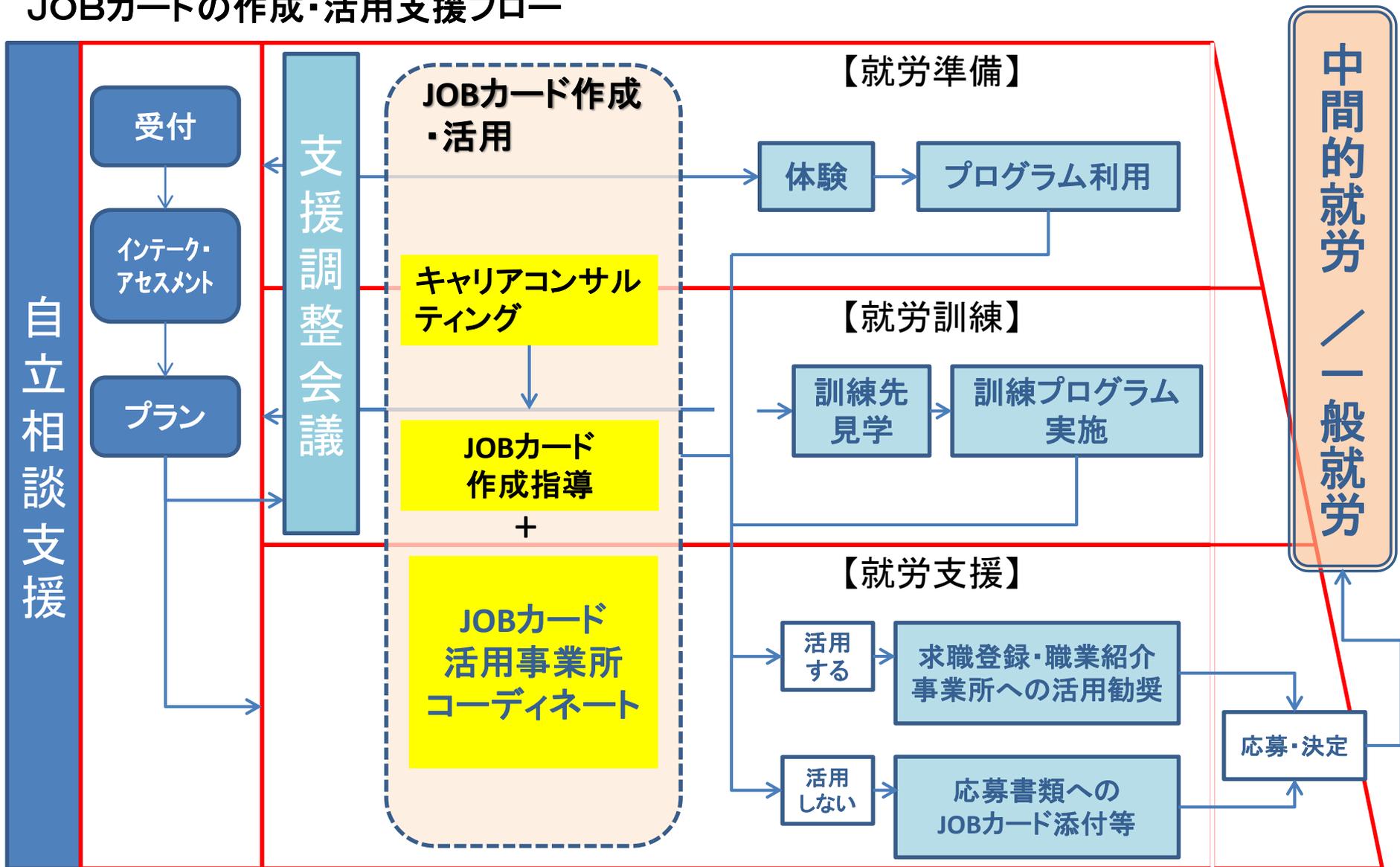
- 就労訓練先にもJOBカードを活用しながらの訓練(人材育成)をアピールし、制度活用のメリットを具体性をもって示す
- JOBカード作成支援アプリなどツールも紹介する



JOBカードを積極的に活用することで、就労訓練事業を他の短期体験実習等と差別化し、就労に近づける人はさらに近く、まずは中間就労からの人も目指すところへのステップを明確にして、実施する意義の確立を図る。

# 相談者の自己理解と受入れ企業に対するメリットを高めるJOBカードの活用

## JOBカードの作成・活用支援フロー



## 連携企業の概要

### 株式会社 A

- 所在地 : 宮城県仙台市宮城野区
- 事業内容 : 衣料品プリント加工事業

## 企業と仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ とのつながり

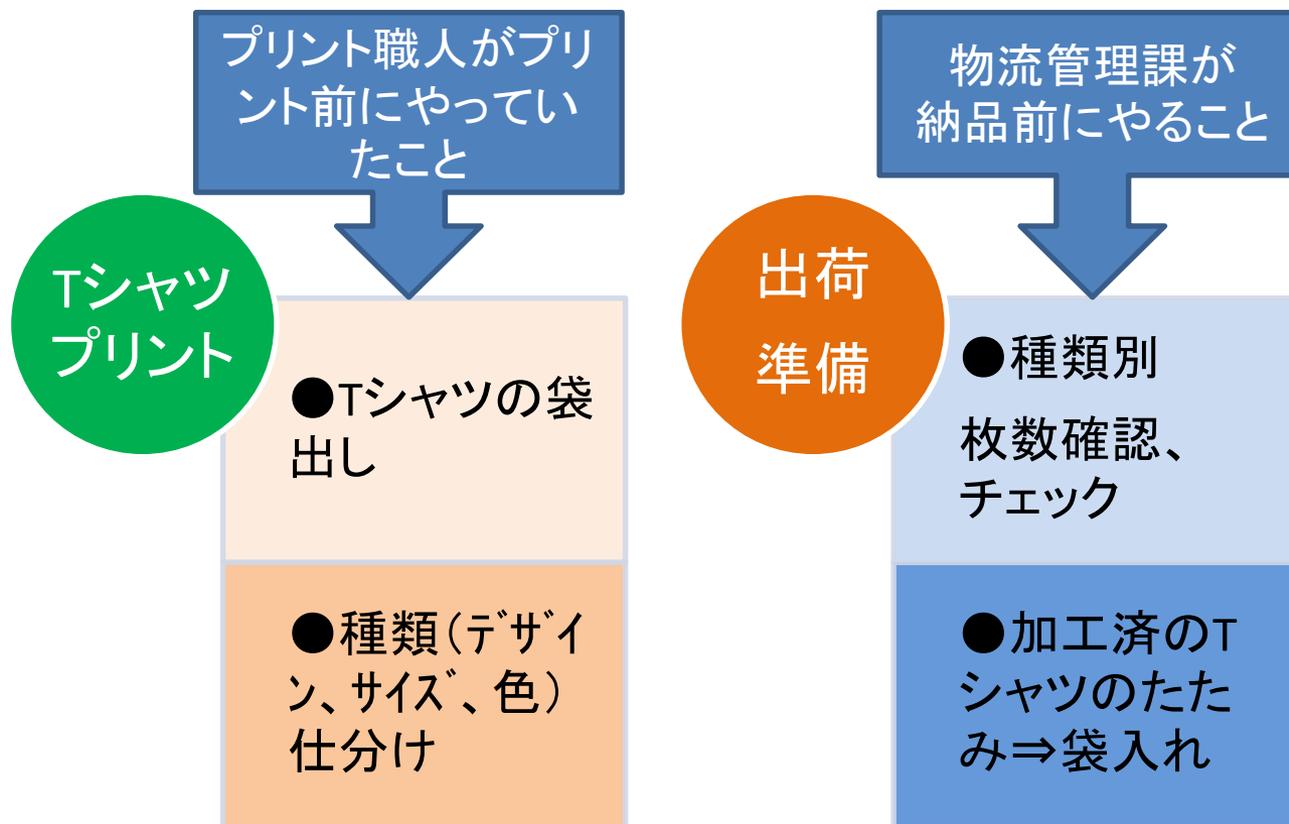
- 自立相談支援事業
  - ・ 無料職業紹介事業所の求人登録事業所
  - ・ 職業体験実習制度 実習生受入れ協力事業所(受入れ実績9名80日/2年6ヶ月間)
- 就労準備支援事業
  - ・ 作業プログラム
  - ・ 職業見学プログラム、就活講座講師
- 就労訓練事業
  - ・ 生活困窮者就労訓練事業認定事業所
  - ・ 就労訓練受入れ実績 1名

## 企業のメリット(就労準備プログラムや職業体験実習を通して)

- ・ 作業に習熟した就労準備支援センター利用者が、職業体験実習で事業所に出向くことにより、現場でのニーズを直に把握し、きめ細かく応えることができるようになった。
- ・ 事業所担当者の工程の一部を担う形となって品質と効率が向上した。
- ・ 人を育てるノウハウを共有し、高めあう関係づくりができています。
- ・ 事業所のHPでは、CSRの取り組みとして自立相談支援事業所との協働を取り上げ、地域にアピールしている。

### 企業との連携による成果と企業からの評価

- 自立相談支援事業所の成果(利用者のメリット)
  - ・事業所の現場で作業を経験することで、緊張感や責任感を持ち、就労のイメージを具体的に持つことができるようになった
- 事業所からの評価
  - ・作業工程への理解や求める水準をしっかりと共有できていることで、工程の切り出し先として自立相談支援事業所が欠かせないパートナーとなっている。



わんすてっぷに切り出すことによって...

職人はプリントに専念できる！  
物流課は納品管理に集中できる！

# 企業支援 事例-2 仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ

株式会社A

Tシャツ  
プリント

Tシャツ在庫

Tシャツの袋出し

枚数確認、仕分け

Tシャツプリント加工

加工完了

種類別枚数確認、チェック

加工済みTシャツのたたみ、袋入れ

納品、店頭出荷

わんすてっぷ

・わんすてっぷに切り出すことで、  
職人がプリント加工業務に専念でき、  
効率アップが図られた

・従来1人でやるか臨時アルバイトで  
やっていたが、わんすてっぷに切り出す  
ことで精度が上がり品質が向上した

わんすてっぷ

株式会社A

B  
さん

・通所  
・面談や利用者同士のコミュニケーション  
・株式会社A切り出し作業への習熟

でも、まだ足りないのは……

・就業の経験がない  
(少ない)  
・現場の流れがわからない

職業体験実習の実施

・仕事の流れがわかる！  
・現場のニーズがわかる！

↓  
“仕事をする”リズムと現場感覚を習得できる

**Bさんのスキルアップ、経験値アップ**  
**わんすてっぷ利用者への影響(刺激)**  
**株式会社Aの作業効率アップ**

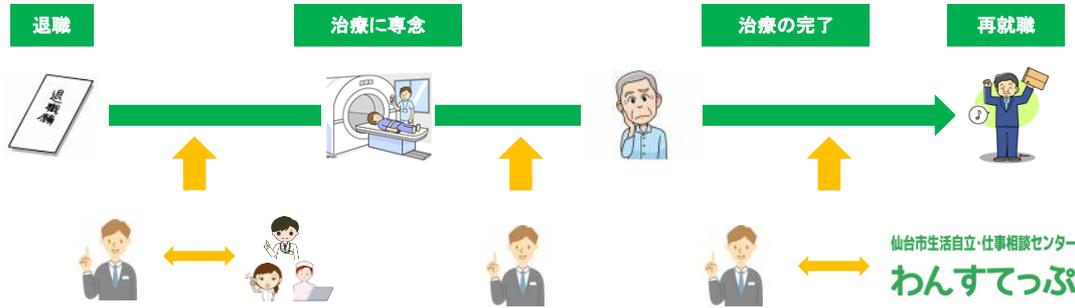
# 多様な社会資源との協働による就労支援の取り組み

## 仙台市市民協働提案制度

### 仙台市立病院との協働によるがん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援協働事業 がん罹患者の「はたらく」を支える三つの支援 ①再就職支援～②職場復帰支援～③就労継続支援～

#### 1. 再就職支援

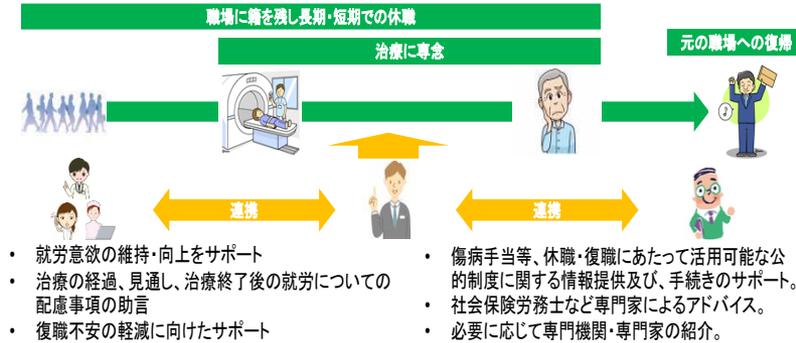
治療のために就労事業所を退職したが、治療後には就労可能な状況であり再就職を希望するがん罹患者に対して、伴走型の再就職支援を実施。



- 再就職意欲の維持に向けたサポート
- 治療の経過、見通し、治療終了後の就労の可否についての情報提供
- 就労にあたっての配慮事項の確認
- 相談者の就労に対する希望と課題の整理
- 一般労働市場の情報提供
- 就労までの支援計画策定
- 仙台市生活自立・仕事相談センターと連携した就労支援の実施。
- 個別求人開拓と無料職業紹介事業の活用
- 就労準備支援事業の活用
- 職業体験実習の活用

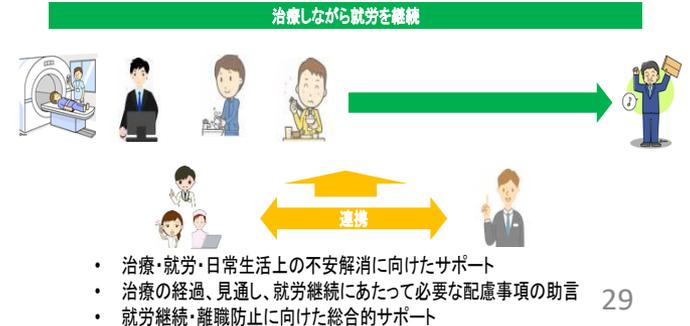
#### 2. 職場復帰支援

退職には至っていないが治療中は休職した上で治療に専念し、回復後に職場復帰を希望するがん罹患者等に対し、復職に向けた就労意欲の維持・向上や復職不安を軽減するための支援を実施する。



#### 3. 就労継続支援

治療を行いながら日常生活を送り、就労を継続するがん罹患者等に対し、治療と仕事を両立するために必要な助言など、就労継続及び離職防止に向けた支援を実施する。



## 仙台市児童養護施設等入所児童就業支援・アフターケア事業

特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎとの共同事業体として、平成28年7月に仙台市子供未来局から受託。本年6月に同事業の公募があり共同体としての提案が採択され、平成29年7月から平成32年3月まで複数年の契約にて『仙台市児童養護施設等入所児童就業支援・アフターケア事業』を、受託した。

### 「仙台市児童養護施設等入所児童就業支援アフターケア事業」概要

#### 1. 事業の目的

児童養護施設等入所児童が将来経済的に自立した生活を営めるよう、就業支援、退所後のアフターフォロー体制を構築し、社会的自立に向けた支援を行う。

#### 2. 事業の対象者

仙台市所管の児童養護施設等の入所児童及び退所した方、また、仙台市による里親委託児童及び里親の養育から自立した方。年齢はおおむね中学生から25歳位までの方。

#### 3. 事業概要

##### 1) 施設等入所児童に対する就業支援

①ソーシャルスキルトレーニング(以下 SST)の実施 ②就労支援の実施

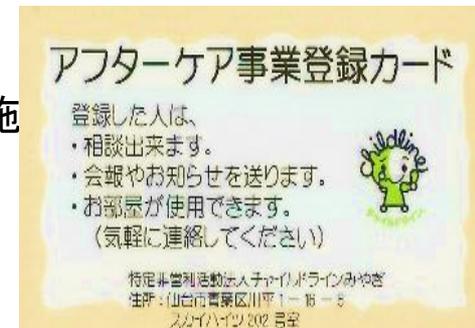
##### 2) 施設等を退所した児童に対するアフターケア

①失業した者への実践的就職支援による再就職支援

②電話相談 022-341-7062

③来所相談 ④退所者の交流サロン ⑤退所者交流会 ⑥情報提供

##### 3) 会報発行



### 「ソーシャルスキルトレーニング」実施

1. 生活習慣 「SNS・インターネット」

2. 職業・金銭教育 「職業を考える」「生活費・家計管理の仕方」

3. 職業教育 生活習慣 社会人としての生活「ビジネスマナー」



# 世界の就労支援の状況

## ☆ワークファーストの原則

平成27年3月、ノルウェー、スウェーデンの就労支援の現場を視察し、自治体が就労支援に真剣に取り組みを進めていることを知る。

平成27年9月、アメリカ(ウィスコンシン州)の就労支援の現場を視察し、就労支援等は成果主義ということを知る。

平成29年2月～3月、ベルギー、フランスの就労支援の現場等を視察し、ESS(社会連帯経済)のことを知る。



ノルウェーでは、NAVという組織があり、国所轄の社会保険・年金事務所とハローワークと地方自治体所轄の福祉事務所が合体したもの。社会福祉制度を支える最大の組織。2006年に設立され、2010年に組織基礎がかたまる。

## 世界の就労支援の状況

スウェーデン(ストックホルム市)には自治体の無料職業紹介所があり、必ず社会保障を受けたいと思う者は、ハローワークと自治体の無料職業紹介に登録し、毎日就労支援を実施しなければならない。

アメリカ(ウィスコンシン州)では、福祉事務所とハローワークと就労準備支援事業等を一体化させ、一括で委託。就労成果主義。

- ・UMOSはNPO
- ・生活保護は最長4年まで
- ・年間18億円で一括運営
- ・目標値を達成しないと連邦政府からの罰金があるので、州政府からの成果が常に問われている。
- ・保護が切れてしまった人のための食料支援(回数制限あり)



### パリ リオン駅での就労訓練(雇用型)

- ・1日5時間労働。(3つの勤務形態)
- ・最初にNPOが5日の訓練をし、フランス国鉄政府が7日間の訓練を実施。
- ・18人が働いている。
- ・1ヶ月で3800ケースを運ぶ。1人2ケースだとしても1900人分の荷物を運ぶ。
- ・NPOの就労指導員の仕事は働いている人の話をよく聞くこと。そしてチームトラブルの対応など。

**世界でも同じ問題で悩んでいます！**